

千葉県警察 流山警察署

社会学部経営社会学科

3年 小林 涼

1. 実習企業（団体）の概要

千葉県警察は、『安全で安心できる県民生活の確保』を掲げ、618万県民の安全で快適な市民社会の実現における重要な役割を担っている。流山警察署は、流山市を管轄する警察署として、昭和61年3月10日、柏警察署流山幹部交番から警察署に格上げされ、発足した千葉県警察が管轄する警察署のひとつである。

- ・交番数 7か所 ・駐在所数 2か所
- ・所在地 千葉県流山市三輪野山744-4
- ・署長 早川 昌宏

2. 実習内容

装備品の説明・着用 取得物教養 車両点検 鑑識体験 不審者侵入対応訓練 移動交番体験 交番体験 パトロール 術科体験 小学校見学対応 日誌作成

3. 実習の成果

今回のインターンシップで学んだことは、警察という仕事の中にも様々な仕事があり、いろいろな人がいて成り立っていることがわかりました。刑事課には、知識だったり頭脳に自信がある人が求められ、機動隊には頭脳というよりは体力に自信がある人が向いていると思います。鑑識課には、几帳面で粘り強い性格の人が向いていたり、また、警察の所有しているあらゆる乗り物は警察官が操縦をし、そういった事が好きな人が向いていると教えていただきました。あらゆる分野の仕事があり、各方面に専門的な人になるか、あるいは数多くの経験をしたという人にうってつけの職業だと思いました。世の中にある職業のほとんどが警察に入れればできるということも教えていただき、自分はドラマとかで刑事などの印象しかありませんでしたが、今回インターンシップに参加したことで、自分に向いているのではないかと思いました。参加しなければ知らなかったことだと思うので、とてもよい経験になりました。

4. 実習の感想

私は、8月1日から8月10日まで流山警察署でインターンシップを体験させていただきました。初日はすごく緊張していましたが、警察の方が大変優しかったのが最初の印象でした。初日は、まずはじめに署長に警察官の挨拶の仕方であいさつをさせていただきました。挨拶一つで緊張したのは初めてで、そこで気が引き締まりました。5日間にわたり警務課・交通課・会計課・警備課・生活安全課・刑事課・地域課の普段の仕事のごく一部を拝見したり、体験させていただきましたが、その中でも一番驚いたのが警察官の装備品の重さでした。重い装備を1日中身に付け地域の安全を守っている警察官は改めてすごいなと感じました。また、交番にいる警察官も真夏の暑い中、弱音もはかずパトロールや交通整理などを行っているのを間近で見学してもらい、自分に出来るか不安になりました。私は、将来警察官を目指していますが正直普段警察の方が、どのようなことをしているのかを詳しくは知りませんでした。今回のインターンシップで、普段の仕事の拝見させていただきましたが、警察官になりたい気持ちは変わりませんでした。貴重な体験になりました。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月1日(月)	署長挨拶 署内・業務・装備品説明
2日目	8月2日(火)	取得物教養 車両点検 機動隊装備着用 不審者対応訓練 鑑識体験
3日目	8月4日(木)	通常点検 移動交番体験 交番体験
4日目	8月5日(金)	通常点検 移動交番体験 交番体験 防犯パトロール
5日目	8月10日(水)	通常点検 小学校警察署見学対応 術科体験